

単品スライド変動額算出表の入力手順

1. 業者データの貼り付け

- ① 請負業者から名称「工事番号.xls(例:28建企第〇〇号.xls)」として提出された
図-1のExcelデータをコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	証明様式1(資材集計表)										
2	適用品目:鋼材類										
3	1	資材名	規格1	規格2	搬入年	搬入月	数量	単位	購入単価 (税抜き)	合計	加重平均単価
4										0	
5										0	
6										0	
7										0	
8										0	
9										0	
10										0	
11										0	
12										0	
13										0	
14										0	
15										0	
16										0	
17										0	
18										0	
19										0	
20										0	
21										0	
22										0	
23										0	
24							0.00			0	

1)ここをクリックして全体を選択する。
2)コピーを選択する。

図-1 「工事番号.xls」

- ② 単品スライド変動額算出表を開き、①のデータを「業者データ貼付用」シートに貼り付け

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	証明様式1(資材集計表)										
2	適用品目:〇〇										
3	1	資材名	規格1	規格2	搬入年	搬入月	数量	単位	購入単価 (税抜き)	合計	加重平均単価
4					27	11	50.00	t	500,000	25,000,000	
5					27	12	60.00	t	600,000	36,000,000	
6					28	1	500.00	t	750,000	375,000,000	
7					28	5	100.00	t	1,200,000	120,000,000	
8					29	2	120.00	t	1,600,000	192,000,000	
9										0	
10										0	
11										0	
12										0	
13										0	
14										0	901,204
15										0	
16										0	
17										0	
18										0	
19										0	
20										0	
21										0	
22										0	
23										0	
24					10	12	830.00		901,204	748,000,000	
25											
26	2	資材名	規格1	規格2	搬入年	搬入月	数量	単位	購入単価 (税抜き)	合計	加重平均単価

2)ここをクリックして全体を選択する。
3)右クリックして貼り付けを選択する。

1)「業者データ貼付用」のシートを選択する。

2. スライド額算定表の入力

2-1. 工事情報の入力(左半分)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	設計本工事費 (税込)		請負額(税込)		請負比率	既済部分請負代金相 当額(税込)			
2	108,000,000		100,000,000		0.9259				
3	受注者が実際に購入した価格								
4	資材名	規格1	規格2	搬入年	搬入月	搬入数量		加重平均 単価	換算購入単価 (加重平均単価÷請 負比率)
5	鋼材	D295	25	28	1	830.000	t	901,205	973,30
6	鋼材	D345	19	29	3	240.000	t	616,667	666,000
7	鋼材	D345	32	29	3	240.000	t	616,667	666,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18	赤点線内業者データ貼付用から自動入力								
19									
20									
21									

支払済み額ではなく、支払済
み部分の出来高に相当する
請負代金額

(1)設計本工事費(税込み)、請負額(税込み)、既済部分請負代金相当額(税込み)
を「入力①」に入力する。

搬入年・月に表示されている年・月
は、(納入された資材の単価×数量)
の合計が最も大きい年・月である。
主たる搬入月の参考にできる。

{(納入された資材の単価×数量)の
合計}÷(数量の合計)を表示してい
る。

加重平均単価÷請負比率を表示している。

2-2.数量・単価の入力(右半分)

この項目では、受注者が資料を提出した資材の実勢価格と設計価格の差額を算定する。
 なお、入力①→入力②→入力③→入力④の順に入力すること。

官側積算単価										
基本単価	積算資料	建設物価	①平均単価	加重平均単価	②採用単価	設計単価 (税抜き)	設計数量	③採用数量	差額	備考
79,301					973,301	700,000	850.00 t	830.00 t	226,839,830	
66,000					666,000	400,000	250.00 t	240.00 t	63,840,000	
66,000					666,000	400,000	220.00 t	220.00 t	58,520,000	

出来高の精算による支払いを行っている場合は、支払済み部分にかかる数量は除く。

搬入数量と設計数量とを比較して、少ない方の数量を採用する。

入力①

自動計算

※書貼付用)スライド額算定表/変動額算出表/単品スライド集計表/燃料/加重平均算定表/szaityouhyou/hannnyuutuki/

(1)対象資材の設計単価・数量の入力

設計単価及び設計数量を「入力①」に入力する。(積算システムの「単価別集計表」を利用するとよい。)なお、設計数量は、既済部分の数量を除いて記入すること。

官側積算単価										
基本単価	積算資料	建設物価	①平均単価	加重平均単価	②採用単価	設計単価 (税抜き)	設計数量	③採用数量	差額	備考
3,301					973,301	700,000	850.00 t	830.00 t	226,839,830	
6,000					666,000	400,000	250.00 t	240.00 t	63,840,000	
6,000					666,000	400,000	220.00 t	220.00 t	58,520,000	

入力②

自動計算

入力③

自動計算

採用単価は業者が購入した単価÷請負比率と官側積算単価とを比較して安価な方を採用する。

※書貼付用)スライド額算定表/変動額算出表/単品スライド集計表/燃料/加重平均算定表/szaityouhyou/hannnyuutuki/

(2)採用単価の算定方法の決定

採用単価(物価変動後の単価)の算定は、以下のいずれかの方法で行う。

1)主たる搬入月が明らかな場合

「入力②」基本単価、物価資料(建設物価・積算資料)の順に主たる搬入月時点の単価を入力する。なお、基本単価に入力した場合は物価資料の欄に入力することが出来ない。

「入力③」特別調査や見積もりが必要な対象資材においては、主たる搬入月における換算購入単価を入力する。ただし、受注者が実際に購入した単価が著しく高いと思われる場合などは、別途考慮する。

2)主たる搬入月が明らかでない場合

- ①別シート「加重平均算定表」の「入力④」に各搬入月の単価を、(1)に準じて入力し、算出された加重平均単価を「入力③」に入力する。

1	資材名	規格1	規格2	搬入年	搬入月	数量	基本単価一覧表	積算資料	建設物価	平均価格	加重平均単価
	鋼材	D295	25	27	11	50.000		150.00	200.00	175	328
				27	12	60.000		200.00	350.00	275	
				28	1	500.000		300.00	300.00	300	
				28	5	100.000		400.00	400.00	400	
				29	2	120.000		500.00	450.00	475	

赤点線内業者データ貼付用から自動入力

入力④

※主たる搬入月が明らかでない場合にのみ使用

入力③に入力する。

3. 「燃料」の入力

この項目では、燃料類の単価を入力する。

		ガソリン											
	年	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	単価	150	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	119
	年	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	単価												
	年	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	単価												
	年	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	単価												
													平均単価 119 円

(1)対象資材の設計単価・数量の入力

「入力①」工期の始期の翌々月または既済部分検査日の属する月の翌々月を入力する。

「入力②」基本単価から工事実施地区の燃料価格を入力する。

軽油、重油についても同様に記入する。

入力②

5. 単品スライド集計表の作成

変動額算出表を集計し、単品スライド集計表を設計書に添付する。

入力①

設計本工事費(税込)	請負額(税込)	請負比率	既済部分請負代金相当額(税込)	消費税率
108,000,000	100,000,000	0.9259	0	1.08

1.スライド条項適用判定					
鋼材	請負比率	消費税率	請負代金額	既済部分請負代金相当額	1%
1,000,000	× 0.9259	× 1.08	- (100,000,000	- 0)	× 0.01 = 0 円
↑ 変動額が対象となる請負代金の1%を超えないため、スライド条項の対象資材としない。					

入力②

中略

その他	請負比率	消費税率	請負代金額	既済部分請負代	それぞれのスライド額がそれぞれ請負額の1%を超えているかどうかを判定している。例では鋼材は1%を超えていないため、鋼材のみスライドの対象とならない。
1,801,500	× 0.9259	× 1.08	- (100,000,000	- 0	
↑ 変動額が対象となる請負代金の1%を超えるため、スライド					
よって変動額は					
鋼材類	アスファルト類	燃料類	コンクリート類	その他	請負比率
(0	+ 1,000,002	+ -1,500,000	+ 0	+ 1,801,500)	× 0.9259
請負代金額		部分払い済額	消費税率	1%	
+ (100,000,000		- 0)	÷ 1.08	× 0.01	
279,000	円 (税抜き)	302,000	円 (請負比率無・税抜)		
(301,320	円 (税込み)	326,160	円 (請負比率無・税込)		
よって請負額は、					
100,000,000	+	301,320	=	100,301,320	円 (税込み)

「入力①」消費税率を入力する。

「入力②」「4. 変動額算出表」で算出された変動額を適用品目ごとに入力する。